



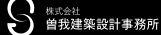
NILZZ

RACING FACTORY

SUZUKA GT 300KM RACE

2026 AUTOBACS SUPER GT Round.5 RACE REPORT

カテゴリー	: SUPER GT SERIES 2026 GT300 クラス	公式練習	: 1'59.736 (GT300 クラス 21 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 1'58.989 (GT300 クラス A 組 11 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: ---
マシン名称	: 健康ケーズフロンティア WM ニルズ GT-R	予選総合	: GT300 クラス 21 位
ドライバー	: 井田太陽 / ジェームス ブル 藤原大暉 (リザーブドライバー)	決勝	: GT300 クラス 24 位 (47 周)
開催地	: 鈴鹿サーキット (三重県)		
開催日	: 2026.8.22~2026.8.23		
天候	: 曇り (8.23) / 晴れ (8.23)		
イベント動員数	: 20,500 人 (8.22) / 32,000 人 (8.23)		





SUPER GT シリーズ第 5 戦“SUZUKA GT 300KM RACE”が 8 月 22 日から 23 日にかけて、三重県の鈴鹿サーキットで開催され、NILZZ Racing はこのレースに井田太陽とジェームスプルをエントリーした。

8 月 22 日 (土) 公式練習

好天に恵まれ、真夏日となったレースウィーク初日。9 時 45 分から公式練習が行われた。

NILZZ Racing はプルがまず連続周回での走行を行い、マシンの確認などを行う。

2 回目の赤旗中断でドライバーを交代。セッション中盤は井田が連続周回を行う。

セッション終盤は再びプルが占有走行の時間を用いて予選に向けたシミュレーションを行った。

最後の計測で 1 分 59 秒 736 を記録し、NILZZ Racing はこのレースウィーク最初のセッションを GT300 クラス 21 位で終了した。

8 月 22 日 (土) 公式予選

14 時 30 分から行われた公式予選。今回 NILZZ Racing はこの公式予選 Q1 では A グループに組み込まれた。

Q1 アタックドライバーはプル。セッション開始とともにコースイン。

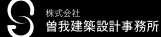
10 分という短い時間の中、計測 3 周目からアタックラップに入った。

計測 3 周目、まず 1 分 59 秒 783 を記録。

続けて計測を行うもセクター 1 で前走車両に詰まり、区間ベストは更新できず。

しかし残りのセクターで区間ベストを更新したことで、計測 4 周目に 1 分 58 秒 736 を記録した。

今回の Q1A グループ予選は 11 位。Q2 進出ラインまでわずか 0.081 秒及ばず、僅差での Q1 敗退となった。





8月23日(日) 決勝

14時30分、警察車両先導によるパレードラップ、フォーメーションラップの後、第5戦決勝レースがスタートした。スタートドライバーを担当したブルはスタート後、好ペースで周回。

多くのライバル勢が20周前後でのピットストップを行う中、ロングスティントの作戦を執った。

スティント終盤、30周終了時にはGT300クラス首位に浮上した。

32周目に入ったところでピットイン。井田にドライバー交代を行う。

クラス24位で復帰した井田。チームは井田にフルプッシュの指示を出す。

42周目、130Rコーナーで激しいクラッシュが発生。

フルコースイエロー (FCY) の後、直ぐにセーフティーカー (SC) が導入された。

レース終盤ということもあって、SC先導の隊列走行のままチェッカーフラッグが振られレースは終了。

GT300クラス24位で完走という結果となった。

今シーズンは予選、決勝共に、僅差ではありますが、各セッションで競争力があることを証明できていると思います。

マレーシア大会の延期により、今大会でシリーズ戦は折り返しとなります。

次戦、菅生大会からのシリーズ後半戦で、より上位を争えるよう、気持ちを引き締め頑張ります。

引き続き皆様のご声援、ご支援をよろしくお願いいたします。

